

特別展 御霊屋改修記念

# 尾張徳川家と



写真提供：株式会社便利堂

# 菩提寺 建中寺

2024 6.8 (土) → 7.21 (日)

Special Exhibition  
Commemorating the Renovation of the Mausoleum  
Kenchūji: Family Temple of the Owari Tokugawa Clan

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日(但し、7/15(月・祝)は開館、翌7/16(火)は休館)  
観覧料 一般1,600円・高大生800円・小中生500円  
※20名様以上の団体は一般1,400円・高大生700円・小中生400円  
※土曜日は高校生以下入館無料  
主 催 徳川美術館・徳興山建中寺・中日新聞社



企画展

# 工芸

Thematic Exhibition  
Captivating *Kōgei*:  
Get Immersed in Japan's Fine Craft

主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM

TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261

蓬左文庫

HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA

TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

# 尾張徳川家と 菩提寺建中寺



徳川家霊廟 唐門天井画見取図 迦陵頻伽  
原本：江戸時代 18世紀 建中寺蔵\*



建中寺本堂\*

徳興山建中寺は、慶安3年(1650)に歿した尾張徳川家初代義直を供養するため、その子である2代光友によって建立されました。以来、尾張徳川家の菩提寺として歴代当主やその家族たちにより堂宇が建てられ、宝物が奉納されるとともに、代々の位牌を安置する御霊屋や墓所が造られ、遺品が納められました。現在も、歴史ある建造物や由緒ある文化財が、威容を誇った当時の様子を伝えています。

本展では、建中寺が所蔵する宝物を中核に、所縁の品々を通覧することで、尾張徳川家とともに歩んできた建中寺の歴史を紐解きます。また近年、修復が進められている建中寺の御霊屋についても紹介します。

※写真提供：株式会社便利堂



葵紋付黄金造飾太刀拵(建中寺瑞龍院殿墓所出土、復元品) 昭和43年(1968)  
(金具：江戸時代 17世紀 徳川光友(尾張家2代)所用)

重要文化財 太刀(菊紋) 菊一文字 鎌倉時代 13世紀  
徳川忠長(徳川秀忠3男)・徳川義直(尾張家初代)所持・徳川五郎太(同家5代)寄進



色絵犀形香炉 江戸時代 17世紀 徳川綱誠(尾張家3代)所用 建中寺蔵



国宝 初音蒔絵大角赤手箱  
江戸時代 寛永16年(1639)  
霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用



紺紙金字仏説阿彌陀經 成譽廓吞(建中寺第1筆)  
江戸時代 17世紀 建中寺蔵

# はまる 工芸

重要文化財  
花鳥七宝髹文密陀絵金御供飯(部分)  
琉球 16~17世紀  
徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用

漆工品や金工品、陶磁器などの工芸作品には、時に異なる素材が巧みに組み合わせられています。文様を彫り、別の素材を嵌め込む象嵌や、貝片を漆器や木地に嵌めたり貼ったりして装飾する螺鈿は、作り手の卓越した技術の結晶です。また様々なものを収める箱も木の組み方や収納の仕方に工夫が凝らされ、隙間なく嵌まるように作られています。

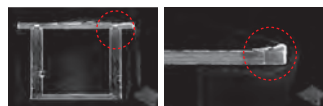
本展では数ある工芸技術の中でも、こうした素材や形がぴったりと組み合わせられた「ハマる(嵌る)」側面に着目し、工芸作品の様々な姿や秘密に迫ります。「ハマる」をキーワードに、工芸作品の輝き続ける魅力にもハマってみてください。



CT画像 東京国立博物館撮影



木目が異なり、精巧に組み合わせられているのがわかります!



CT画像 九州国立博物館撮影

「ハマる!」 机の構造がわかります!



国宝 初音蒔絵机 江戸時代 寛永16年(1639)  
霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用

表面 仏涅槃図 江戸時代 17世紀 勘解由小路(尾張家2代光友側室)寄進 建中寺蔵/螺鈿梅花形楼閣人物図食籠(部分) 明時代 15~16世紀 \*所蔵先の表記がない作品は全て徳川美術館蔵

関連企画 ※各講座・イベントの詳細は当館ホームページまたは右記QRコードよりご確認ください。



土曜講座  
①「漆工品の魅力にはまる」 学芸部学芸員 板谷寿美  
②「建中寺の歴史と宝物」 学芸部マネージャー 安藤香織

日時：① 6月15日(土) ② 6月22日(土)  
各日午後1時30分~午後3時(開場：午後1時)  
定員：各日80名(事前申込制ですでに満席)  
空席がある場合のみ各1,000円(入館料別途)にて当日受付  
会場：講堂

本格体験講座  
「螺鈿で彩る銘々皿」  
講師：鶴飼敏伸氏(漆芸家・日本工芸会正会員)

日時：6月16日(日)  
【午前の部】10時30分~12時30分(開場10時)  
【午後の部】14時00分~16時00分(開場13時30分)  
定員：各回10名(事前申込制/先着順)  
会場：講堂  
参加費：10,000円(税込/入館料別途)  
受付：5月21日(火)午前10時開始

建中寺ご住職の講話と見学会  
学芸員の見どころトークと展覧会図録付き  
講師：村上真瑞氏(徳興山建中寺 住職)

日時：7月7日(日)午前9時30分~12時30分(建中寺 三門前受付：9時~)  
定員：60名(事前申込制/先着順)  
場所：徳興山建中寺(〒461-0003 名古屋市東区筒井1-7-57)  
参加費：2,500円(税込)  
受付：5月21日(火)午前10時開始

次回展覧会  
7月27日(土)~9月16日(月・祝)

夏季特別展  
もののふの備え 甲冑の美学



朱塗檜木系威具足 徳川義直(尾張家初代)所用



馬とともに  
黒漆桐紋鞍・鍔 伊勢駿河守貞作 徳川家康所用

便利でお得な  
オンラインチケット

発売日：5/10(金) 午前10時~  
・5/10~6/7 前売券(割引あり)  
・6/8~7/21 通常観覧券



〒461-0023 名古屋市東区徳川町

- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル「徳川園・徳川美術館・徳川文庫」下車
- JR中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分